多くの体験から学んでゆける環境を作っている

桐島 学校では「やっさ踊り」に関わる学習として、どんな事に取り組んでいますか？

校長 歴史を調べて伝え合う学習はもちろん、やっさ踊り振興協議会や地域の方々にご指導いただき、4年生がやっさ踊り、5年生が唄・地方演奏を継承し、学習発表会や地域の行事などの時に披露しています。また、運動会では全校児童が地域や保護者の皆様と一緒に踊ってやっさ踊りを体験し「やっさ祭り」には一人でも多くの子どもが参加出来るように取り組んでいます。

学校・保護者・地域が協働して取り組んでいる

桐島 地域や保護者の方たちとは、どのような協力体制でいるのですか？

校長 糸崎地区の子ども達は、6年前から地域や青少年育成糸崎地区協議会の方々が中心となって「やっさ祭り」に参加しています。一昨年の「やっさ祭り」から「子ども部門」が新設されたことにより、学校単位での出場となったことで保護者・PTA協力体制を一層整えて頂き、学校・保護者・地域がそれぞれの役割で協働して「子ども達の心にふるさとを持たせてあげたい」という想いを共有し、繋がりを大切に取り組んでいます。

桐島 子ども達にとっても、地域と連携した素晴らしい環境が作られているのですね。

校長 「やっさ祭り」に向けての計画・練習・準備・当日の安全確保や指導など、地域の皆様の様々な支援に対して、子ども達は感謝の気持ちをいつも忘れずに参加しており、繋がりは回を追うごとに深まっていると感じます。

広がってゆく郷土愛の輪

桐島 子ども達が「やっさ踊り」に取り組んでいる姿勢などを見て、どのような事を感じていると思われますか？

校長 昨年の「やっさ祭り」には、全校児童187名中130名が参加、約70%という高い参加率で、2年連続で子どもやっさ部門の準優勝を頂きました。子ども達は、暑い夏休みの体育館での練習にも熱心に参加し「やっさ祭り」では猛暑の中で最後まで元気いっぱい楽しく踊ることができました。大きな達成感と友達との一体感、そして、ふるさと三原の良さを味わったのではないでしょうか。一緒にお手伝いを頂いた保護者・地域の方々と共に最高の思い出になったことと思います。

桐島 また今年の成人式では、新成人の集いでのオープニングとして、西小学校と一緒に「やっさ踊り」と「地方演奏」を披露したそうですね。

校長 よい場を頂き、感謝しています。子ども達の踊りが始まると、それまでの会場の雰囲気が一気に変わり、拍手と大声援を頂きました。そして、会場いっぱいに新成人からの「やっさやっさ」のお囃子が響き渡り、ステージと会場が、小学生と新成人が一体となった感動的なひと時となりました。

桐島 新成人も成人式のために久々に三原に帰ってきた時に、子ども達の素晴らしい踊りを見て感動したんでしょうね。

校長 今年の新成人は、小学校6年生の頃から、学校で伝統文化を継承する活動として「やっさ踊り」に取り組んでいた人もいて、当時の自分と重ねて懐かしく楽しんでいたようです。新成人と小学生が「やっさ踊り」を通して「ふるさと三原」「心のふるさと」を共感する貴重な時間になったようで、これまでの継承活動の成果を感じました。

桐島 やはり「やっさ踊り」を通じた取り組みは子ども達の心に残り、郷土愛へと繋がる大きな「キーワード」のようですね。

校長 そうですね。「子ども達に心のふるさとを持たせてやりたい」という地域の熱い想いを大切に、これからも「郷土愛の種」を子ども達の心の中に蒔き続けていきたいと思います。

桐島 本日は、ありがとうございました。

やっさ祭りに参加した子ども達の感想文

（昨年度6年生の作文を、一部抜粋して掲載しています）

夕方の、小学校の体育館、元気のいい地方に合わせて、やっさの練習が始まりました。毎週末の19時から練習でしたが、学校の授業とはちがうわくわくした気持ちで練習しました。今年の夏、私は糸崎ふれあいチームの地方の三味線演奏することになりました。一番心に残ったことは知り合いの人が手を振ったり、声をかけてくれたりしたことで最後まで演奏できる力となりました。

わたしにとってやっさは、自分を表現する1つの方法です。だから、これから先も、たくさんのお友だちに、やっさを知ってもらって、大好きな三原をもり上げられたらいいなあと思います。

* * *

ぼくは、今年はじめてやっさ祭りに参加しました。優勝めざし、みんなと合わせる所や大きな声を出す所などをがんばって練習しました。踊りをおしえてくださる先生の声は、とても大きな声で、いつも感動します。僕も先生に近づけるように精いっぱい大きな声をだして、おはやしを言おうと思いました。

大賞が取れなくて少し残念でしたが、みんなでがんばってやりとげたという気持ちでいっぱいになりました。

* * *

ぼくは、学校のみんなや、地いきの人達と、やっさ祭りに出場しています。5年生の時、ぼくは、じかたをするために三味線を選びました。はじめは、ぜんぜん分かりませんでしたが、上手な人が、やさしく教えてくれたので安心しました。放課後や休けい時間など猛練習が始まりました。こういう友達のおかげでだんだん上手になりました。

やっさおどり本番の時です。保護者のかたがたが、見に来るのですごくどきどきしました。いろいろ教えてもらったりした協力のおかげで、いい演奏ができました。いい演奏ができた時はなみだがでそうなくらいうれしかったです。

* * *

子ども達の感想文を見ても分かるように「やっさ踊り」を通じた学習から得たものは将来忘れられない財産となってゆくでしょうし、三原に愛着を持った大人に育ってゆくのではないでしょうか？

こうした、大人が増えてゆくことで地域が元気、三原が元気になってゆくものと考えます。

地産地消で協働のまちづくり！

地域の魅力を発信している方々にインタビュー vol.2

本年度地域の力確立委員会（阪井健太郎委員長）は、「地産地消」を通して、協働のまちづくり実現を目指しています。そこで、先月号に引き続き「地産地消」のまちづくりに関係のある方に話を聞き三原市の現状を確認します。今月は三原市役所、三原市経済部主幹（農林水産担当）の沖野進様にお聞き致しました。

三原市の地産地消の現状

行政として、三原市の地産地消の現状はどのように把握されていますか？

沖野主幹 三原市はご存知の通り、農林水産に関係するものは、農業、水産、畜産と多岐にわたっており、またその流通も多岐にわたっています。その為、把握はできにくいのですが、平成21年度に策定した「三原市農業振興ビジョン」にも記載されている通り、農作物の直売所における販売額は平成15年度から2倍以上増加しています。このことから、多くの市民が地産地消に意識が向かっていると認識しています。

これまでの行政の動き

様々な課で、地産地消に向けて動かれていますが、これまでどのような活動をされてきたのですか？

沖野主幹 農林水産課としては、他の課が行われる地域の特産物を活用した事業をされる時のサポートを行って参りました。具体的には、三原小学校の生徒に対し船上から、たこつぼを投入することで、たこつぼを投入することで、たこつぼ漁を理解する「たこの水産教室」や三原の風土や食文化を生かしながら健全な食生活を実施する市民を増やすために保健福祉課が作成した冊子「ふるさとみはらの味」等です。

これからの行政の動き

多くの市民が地産地消の意識を持ち始め、行政も様々な動きをされていますが、今後はどのような活動をされていますか？

沖野主幹 まず教育委員会が地場産物活用推進事業として、市内２校を指定し、地場産物を活用した食育推進を行います。さらに、たくましく生きる力を育む推進事業として郷土の食材を使った朝ごはんのレシピを小中学校から募集し、レシピ集として配布します。

また、農林水産課としては、平成24年度に学校給食がセンター化になるのに合わせて、出来る限り地物を子どもたちに食べてもらえるよう、農家の方に食材の提供を勧めています。

そして三原市全体としては、平成20年度から始めている「三原市ふるさと情報発信事業推進協議会」の中にある地産地消ワーキンググループ（以下：WG）による地産地消の推進を行って参ります。

地産地消WGとは

地産地消WGは、どのようなワーキンググループなのですか？

沖野主幹 三原市の良さを全国に広めようと、三原市内の経済団体・農業団体・大学・観光協会・行政が協力し、設置された協議会の中にあるWGで、農林水産課が座長になり、参加団体は、三原農協・広島中央農協・三原商工会議所・三原臨空商工会・学校教育課・商工振興課です。

おきの　すすむ
沖野　進 様

三原市経済部主幹
（農業水産担当）

昭和58年三原市役所入庁から多くの年月を農林水産課で勤められる。
幸崎町在住

現在進めてゆこうとしている事は、地元産の食物を三原で食べられる飲食店を三原市飲食組合と連携して、推進してゆくことです。この為には、料理に入れる地元産食物の割合の基準を決める必要があります。その点は、難しく様々な目からの検討が必要だと考えています。

協働で地産地消はできるか!?

（社）三原青年会議所では、市民、企業、行政が協働でまちづくりを行ってゆく必要があると考えていますが、この地産地消を協働で行うことはできるでしょうか？

沖野主幹 協働で地産地消を行うと突然いわれても、多くの方が理解し難いと思います。協働で行うための役割を明確にして様々な団体に提案すると良いのではと思います。行政としては、まちづくり推進課の中で協働のまちづくりを推進しておりますので、提案内容によっては協力できるのではと考えます。

ま　と　め

行政も様々な地産地消の推進を行っています。この推進を市民全員で行うことで一人ひとりがまちづくりの意識を持つことができるのではと考えます。（社）三原青年会議所は、今回の貴重なご意見を参考にして、「地産地消」を通した協働のまちづくり活動を目指して参ります。

アイウィル土居写場
アオイ福原㈱
㈱赤石硝子建材
Ⓐ赤谷木材㈱
㈲安芸緑化機材
公認会計士浅田勝彦事務所
玄米精乳 朝日養素
あなたのまちの郵便局
あまの歯科・矯正歯科クリニック
㈲イーグル
イノセント
スナック・お好み焼き いろは
岩西自動車
㈲上田製版印刷所
上田鉄工㈱
おばんざい うさぎ
㈱ウツミ
うな中
宇野税理士事務所
サイクルショップうらさき
㈱エヌワイティグループ
MSTUDIO㈱
㈲エルサ
㈱大石製作所
大下建設㈱
オートドリーム三原
大東印刷㈱
大成土地家屋調査士事務所
㈱オギロパン
お茶の平野園
小野税理士事務所
㈱マネジメントブレインズ
ピアノラウンジ 帯
㈲笠下工務店
片島尚子税理士事務所
親切ギフト かつはら
勝原不動産
㈱勝村商店
勝村木材㈱
レストラン かねしょう
カネダ漢方薬品㈱
㈱カネツナ
㈲上田商店
カルビ屋大福三原店
㈱ガルバ興業三原工場
㈲完山商店
キャメル
共立電機産業㈱
㈲共和設計
共和不動産㈱
食事・酒処 きらく
桐島電気管理事務所
牛ちゃん
クラーク矯正歯科
チキャン・303
㈲中央地所
㈱中国新聞サービスセンター
㈲中国補聴器
㈱ツヅラ塗装
ディアナ〜月〜
デオデオ ヒラハシ電機
くし焼き 狄
㈲寺迫組
㈲東亜不動産
富野機工㈱三原営業所
㈱トーヨー塗装
和食処 登喜将
トレジャー
㈲中川広告
㈲中川書店
中間醸造㈱
なぎさ医院 内科・皮膚科
なんばレディースクリニック
㈱ナンバ洋服店
にった文具店
皆実町㈲灰谷鉄工所
博善社みやうら会館
㈲浜松組
㈱原アルミ建材
光自動車ガラス専門店
HARAJIN&ONOJIN
㈲半さん
ビストロSOBO
TKC桧山税理士事務所
㈱ヒューマンクロスカンパニー
平木商店
平田歯科医院
㈲広興
㈱ファースト
ラウンジ ファースト
ファミリーレストラン太陽樹高須店
㈱富久屋
藤井建設㈱
㈱藤井
富士金属工業㈱
㈱フジ フジグラン三原
フジグラン三原名店会
㈱富士鉄工所
㈱古川製作所
フルモト建機㈱
文化シャッター㈱
ペアー設計工房
㈲ボディーショップたまがわ
本郷建材工業㈱
ホンダカーズ三原皆実
㈲本田石材工業
㈱まじま製麺
㈱倉橋匠栄堂
㈱クリエイティブ・ライフ
グロッタアッズーラ
藝陽日日新聞社
(医)仁康会 小泉病院
広愛産業㈱
晃栄不動産㈲
広陽フッソ産業㈱
㈱コグマヤ
㈱コパックス
小松木工㈱
㈱サービスセンター
㈲サーブインターナショナル
㈱阪井養魚場
㈱坂元鉄工
㈱笹井産業
佐竹工業㈱
㈱サツキ工業
三基工業㈱
三協立山アルミ㈱
三陽環境管理㈱
山陽建設㈱
㈲山陽高速印刷
山陽製粉㈱
㈱シゲモリ本店
CBテクノロジー㈱
JT日本たばこ産業㈱
しまなみ信用金庫
㈱自動車ガラス三原
秀花しゅうか
㈱住創
順勝寺
㈱正田文華堂
城南観光㈲
新宅建設㈱
㈲新和通信
㈲シー・イー・サプライ
ジャイロ
社会福祉法人 泰清会
㈱スミダ
www.sudachi.org/
㈱セイム
セブンイレブン三原駅前店
セブンイレブン三原宮沖店
㈱大建組
㈲大日ヘルスショップ
㈲高山ペットショップ
㈲タクトコーポレーション
竹本自動車
田中運輸㈱
㈱田中組三原支店
田辺澱粉工場
㈲多森薬局
季節料理 ちか
益谷建設㈱
松尾社労士事務所
㈱松田鉄工所
ジュエリーサロン まつば
マミー化粧品
スナック マリア
おしゃれサロン マルゼン
㈱みどり商会
㈲みどり書店
みどり幼稚園
三原カンツリークラブ
三原郷心会
㈱三原国際ホテル
みはらし代行
㈱三原シティホテル
三原重量㈲
㈱三原スーパー
三原総和㈲
㈲三原ターミナルホテル
エム・キャット三原テレビ
㈱三原美装社
三好印刷㈱
むねひろ歯科クリニック
盛影塗装㈱
㈱森剛
天ぷら割烹 もみぢ
㈱やっさ石油
献上銘菓 三原の味です名物です ヤッサ饅頭 ヤッサ饅頭本舗
ヤマサ建設㈱
マイエッグ ヤマナ
(医)山田脳神経外科
山本衣料㈱
吉井ビジュアート㈲
寝・生活館よしなが
由水酒販㈱
夜船司法書士事務所
ラウンジ OB
ブライダルサロン㈱ラ・ベルフィーユ
㈱リアルサポート
リカーショップだいしん
下町の居酒屋 六文銭
YKAP㈱
ラウンジ y's
㈲渡辺商会
渡辺土地建物㈲
買・売・質 わたべ

本紙"やっさもっさ"は、ここに掲載の企業のご協力と㈳三原青年会議所の自主財源で発行しています。